

ステップアップ講座 「チーム・ビルディング」

～リーダーシップを発揮して
“いいチーム”をつくるには～

2018/2/17



講師の加留部貴行先生

2月17日（土）、本学南大沢キャンパス本部棟大会議室にて、すでにボランティア活動に取り組んでいる人を対象としたステップアップ講座として、「チーム・ビルディング」の研修を開催しました。本研修は、体育会本部が主催し、体育会の代表や主務が参加する「リーダー育成研修会」に



コラボレーションする形で実施し、体育会とボランティアのリーダーが合計で82人参加し、共に学びました。講師は、九州大学大学院客員准教授で日本ファシリテーション協会フェローの加留部貴行氏にご担当いただきました。

研修内容

初めに、グループを国家と見立て、紙（資源）や道具（技術）を不平等に与えられた複数のグループ（国家）の間で、できるだけ多くの富を築くことを競う、「貿易ゲーム」という貿易のシミュレーション・ゲームを行いました。このゲームを行っていく中で、自分たちの強みや弱みを理解し、役割分担をしたり、戦略を立てるなどのメンバー間での共働がこのゲームのポイントとなります。ゲーム終了後には、感想や反省点を共有しながら、さらに、ゲームでの出来事を自身の団体の状況に置き換えて、自身のチームでも起こりうることをゲームと比較し、考えました。

そして、それらを踏まえて、チームをつくるということや、リーダーシップについて講義をいただき、一人ひとりが主体的に関わり合い、活発に共働しながら

成長するチームづくりについて学びました。

参加した学生の声

- ゲームの感想や反省から自分の部活動に当てはまることが多くあり、客観的に見ることができ、今後、組織をまとめていくうえで、直接的に活かすことができると思った
- ゲームを通じて、他の部の人も、それぞれの部が抱える問題や課題に対する解決方法についての意見まで深い議論ができ、今後の指針になった
- リーダーとして集団にどう向き合えばよいか、リーダーの責任や役割など、自分の立ち位置を再確認することができた
- 自分たちボランティアセンターは、まだできたばかりで関係性や役割分担が浅い面があり、かつ、浮き沈みで言うと、そろそろ折り返しに差しかかっているのので、改めて気を引き締めて、学んだことを活かしたい

それぞれ自身の団体に当てはめて考えることで、チームのあり方や、リーダーとして今後のチーム運営に活かせるヒントを得ることができたようです。

